

演出家・原田一樹に聞く

一九九八年に初演され、長く上演を続けています。作品の変遷を聞かせてください。

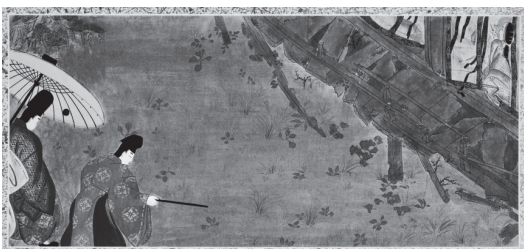
最初は、全ての役を男優が演じました。人が誰かを好きになったり恋しく思ったりする気持ち、少女的でもありますが、男女問わず普遍的で、男性で演じた方がたまたましなないで描けるかなど。これが好評で、作品の本来の形である女性版でも挑戦をと言っていたら、二〇〇一年に全員女優で上演しました。それを当時の静岡県知事が観て「これはぜひ中高生に見せたい！」とおっしゃって、中高生鑑賞事業として上演を続け、多くの若者に観てもらいました。途中、朝倉根さんが衣裳のデザインをしてくださったり、スタッフとの試行錯誤も加わって、今に至っています。幸せな出会いがあった作品です。

「この作品の魅力はどんなところですか？」末摘花、この姫が自分の内面をあまり見せないところにあると思います。侍女たちは貧しさに耐えかね、愚痴を言い、騒ぎ、一人、また一人と屋敷を去る。とりまく女性たちの騒々しさに対して、姫は正に言葉足らずですが、だからこそ逆に御簾(みす)の後ろにいる彼女は何を思っているのかわからない。

幕間

静岡英和学院大学元教授 沢田正子

梅・桃・桜・山吹・山吹しし 洛後も源氏の訪れはない。待女たちも次々と去り貧窮と絶望の折しも松に寄り添いたをやかに咲き匂う邸前の藤の花に誘われるように源氏との再会が果たされる。逆境的な時代遅れでも誠意と誇りを失わず耐え忍ぶ謙虚で真摯な女君に彼は心打たれ懐旧の念にくれる。源氏物語はヒロイン藤壺や紫上に因み紫の物語、紫のゆかりの物語とも呼ばれるが、紅花の女君末摘花もまた高貴な紫の藤の花のゆかりを負うこの物語のヒロインの一人なのである。



©徳川美術館イメージ・アート・DNPart.com

桜井清香「源氏物語絵巻蓬生絵」(復元模写) 徳川美術館蔵 光源氏が末摘花を再訪する場面。源氏の頭上には、松にからむ藤の花。崩れかかった屋敷の隅には女性の姿が見える。

言葉足らずの姫が観客の想像力をかきたてる



『しんしゃく源氏物語』(初演の様子) 1998年10月、舞台芸術公園野外劇場「有度」にて。右から、末摘花、ひげ面の少将、侍従。生の虫の音をバックに男優たちが熱演した。初演の衣裳は鈴木忠志のコーディネートによる。(写真提供:静岡新聞社)

「この作品の魅力はどんなところですか？」と、観客の想像力をかきたてるの、演出でも平安時代の物語に「意外なもの」をぶつけたりしています。例えば音楽、初めての方は違和感を持つかもしれませんが、でもそうすることで、姫の内面が単純ではないことを感じたり、一つの物語をいろんな角度から観てもらえたりする。作者の榊原さんが、『源氏物語』の中にはこういう読み方もできるものがあると提示してくれている。僕の演出はそれを膨らませたものですね。

社会学者の「待」 大澤真幸

折口信夫という民俗学者によれば、「まつり(ごと)」という語は「待つ」に由来しています。どうして「祭り」が「待つ」と結びついているのでしょうか。祭りは、神々をお迎えする行事です。おそらく、昔の日本人は、待つことにはふしぎな力が宿っていて、神様をほんとうに深い思いや願いを込めて待つならば、神様は必ずそれを見察して、遠くからやってきてくださる、と感じていたのです。

地下鉄の中。「その服いいわ、どこで買ったの」と聞いてくる人がいて、どの赤ちゃんも可愛いと褒められ、どんなに肉がはみ出てもヘソ出し服を着る人がいて、どんなに老いても派手なドレスの人がいる。何でもありのこの街なら赤鼻の姫も侍女達も生きやすかったかな。幸せかどうかは分からない。



NY在住 俳優 池田真紀子 末摘花 and the CITY ニューヨークの地下鉄にて

編集後記

高校の教科書以来、久しぶりに触れる『源氏物語』の世界。調べる程に問口のなさ、内容の豊かさに圧倒され、題材選定は難航。救いの手は「現代に通じる戯曲と演出、そして演劇がまた持つ問口のなさにありました。」 (制作部 坂本彩子)

SPAC 秋→春のシーズン 2017-2018 しんしゃく源氏物語 静岡芸術劇場へのアクセス 一般公演日程 2018年 1/13(土) H A 14(日) A 21(日) B 27(土) B 28(日) A 2/3(土) W 4(日) チケット料金 一般 4,100円 SPACの会 会員一般 3,400円 ペア割引 3,600円(2名様で1枚につき) ゆうゆう割引 3,400円[満60歳以上] 学生割引 2,000円[大学生・専門学校生] 1,000円[高校生以下] この他、グループ割引、障がい者割引がございます。 ★静岡県内の小学生ご招待(1公演5名様まで) 関連企画 プレトーク 一般公演日の開演25分前より はじめての演劇鑑賞講座 H 12:30~13:30 劇場ロビーにて 講師:永井健二/参加無料/要予約 アーティストトーク A 終演後、演出家とゲストによるトークを開催(ゲストは決定次第、公式サイトにて発表) バックステージツアー B 終演後1階ロビー集合 参加無料/要予約 ワールド・カフェ W 終演後、参加者同士で感想をシェア 所要時間2時間 参加費500円/要予約 購入方法 ●SPAC チケットセンター(10:00~18:00) TEL:054-202-3399 SPAC公式サイト、劇場窓口でもご購入いただけます。 ●セブン-イレブン 店内のマルチコピー機をご利用ください。 静岡芸術劇場へのアクセス 静岡市駿河区東静岡2丁目3-1(グランシップ内) JR「東静岡駅」南口より徒歩5分 お車の場合はグランシップ一般駐車場をご利用ください。 SPAC公式サイト www.spac.or.jp 主催・お問い合わせ:SPAC-静岡県舞台芸術センター TEL:054-203-5730 FAX:054-203-5732 E-mail:mail@spac.or.jp 劇的婚活! 劇場で婚活!ご観劇を恋の始まりに... 2月3日(土)11:30~17:00[観劇含む] 参加費:5,000円/共催:静岡市 申込先:静岡市コールセンター TEL:054-200-4894 (12月5日(火)より受付開始) おおくは二十しゅーん! SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER スパック=静岡県舞台芸術センター